第17回日本語大賞

特定非営利活動法人日本語検定委員会

テーマ 私のキャッチコピー

高校生の部　優秀賞　受賞作品

『まだ見ぬ景色を探して』

東京都
和光高等学校
二年　　吉村　紬

まだ見ぬ景色を探して

和光高等学校　二年
吉村　紬　（よしむら　つむぎ）

僕のキャッチコピーは「地図より心で歩く旅人」です。

地図は正しい道が描かれています。行きたい目的地にも、どのルートで行けばいいか正確にわかります。しかし、僕は目的地に行く順路にドラマがあると思っています。だから、自分の心が動いた方に一歩踏み出したい。そんな思いを込めて、この言葉を自分のキャッチコピーにしました。

例えば、友達と三宅島に行ったときのことです。三宅島を一周しようと自転車を漕いでいました。いろいろな観光地に立ち寄り、海辺や溶岩でできている崖などを見て回っていました。どれも、すごい景色で美しかったです。でも、僕が一番良かったと思ったのは違う景色でした。それは、目的地に行く途中の逸れた道にありました。その光景を見て驚きが隠せませんでした。水平線が永遠に続く紺碧色でかがやく海、雄大な雄山、心にかぶさるような波の音。地図通り行っていれば一生見えない景色だったと思います。また、この時出会った人たちは、とても優しくご飯をご馳走してくれたり三宅島についての話をしてくれたりしました。その時感じた好奇心に従って動いたからこそ、忘れられない時間になったのだと思います。

僕は、昔から自分らしさを大事にする性格でした。みんながやることを全て真似するのではなく、自分がやりたいことをやることの方が多かったです。もちろん、その選択が必ずしも正解とは限りません。挑戦して失敗することもあります。部活動でのことです。

「自分なりのやり方」を試してもうまくいかず、仲間に迷惑をかけてしまったこともありました。しかし、ただ言われた通りにやっていたら、きっと気づけなかったことや学べなかったことがあるはずです。だから僕は、後悔していません。

「地図より心で歩く」という言葉は、そんな僕の歩き方をそのまま表しています。地図通りの道は安全かもしれません。でも、心に従って歩けば予想外の景色や出会いに巡り会えるのです。その瞬間こそ、僕が生きていて楽しいと感じる瞬間なのです。そしてこの歩き方は、これからの人生にもつながっていくと思います。将来の進路を考えるとき、周りの人は「安定しているから」「有名だから」という理由で進学先や職業を選ぶことも多いでしょう。でも僕は、心から「やってみたい」「面白そう」と思える道を選びたいです。その方が自分らしく頑張ることができ、どんな困難があっても乗り越えられるはずだからです。ですが、心の声だけを頼りに歩くのは危険なこともあります。だからこそ、地図を完全に無視するのではなく、あくまで参考にしながら、自分の感覚を信じて進むことが大切だと思います。安全と冒険のバランスを取りながら、人生という長い旅を楽しみたいのです。

これからも僕は、自分のキャッチコピー「地図より心で歩く旅人」を胸に、まだ見ぬ景色を探し続けたいと思います。そして、いつか振り返ったときに「自分の旅は自分らしかった」と胸を張れるように、一歩一歩を大切に歩んでいきます。